



4月18日(木) 19日(金) 20日(土) 21日(日)

開設70周年記念 海老澤清杯桜花賞

GIII

強敵揃うも地元郡司に期待

4月18日から開催される川崎競輪は桜花賞・海老澤清杯の記念G3。トップクラスの精鋭が名を連ねる豪華メンバーで開催される4日間。尚、4日目は7車立ての企画レース、ブロックセブンが開催される。

そのなかで主役となるのは地元元郡司浩平(神奈川99期)だ。いつG1を制覇してもおかしくない地元元神奈川のエース。ホーム戦に強い小原太樹(神奈川95期)や五十嵐力(神奈川87期)、更には鋭いタツシユで素質十分な和田真久留(神奈川99期)も参戦して地元元神奈川の記念Vを目指す。岩本俊介(千葉94期)や築田輝(静岡107期)からも南関結束で地元元勢を盛り立てる。

強力なのは関東勢。平原康多(埼玉87期)と武田豊樹(茨城88期)のダブルコンビに加えて、吉田拓矢(茨城107期)や杉森輝大(茨城103期)、神山雄一郎(栃木61期)まで揃い強力ラインを形成。

近畿勢も強力。GP王者の三谷竜生(奈良101期)と村上義弘(京都73期)のSSコンビに、積極先行の中西大(和歌山107期)や経験豊富なベテラン松岡健介(兵庫87期)と強固な布陣。

他にも実戦は久々となるが深谷知広(愛知96期)と金子貴志(愛知75期)の師弟両者や、山崎芳仁(福島88期)・佐藤慎太郎(福島78期)の同門コンビらのタイトルホルダーに、ナショナルチームに在籍する河端朋之(岡山95期)や実力者の原田研太郎(徳島98期)、力付けている若手の松本貴治(愛媛111期)も。見応え十分な4日間となりそうだ。



S級主力選手
郡司 浩平
神奈川・99期

いまや地元元神奈川の不動のエースとして活躍を続けるのが郡司浩平。この桜花賞は2017年に制覇しており、地元元ではF1でもグレードレースでもより一層の気迫の走りを見せてきた。地元元記念に対する思いを聞くと「やはり桜花賞には思い入れがあるし、毎年気持ちが入りますね。それに、直接はデビューもあるの、自分にとっては大きな起点になる開催。結果を出して弾みをつけた」と今年も全力で挑む姿勢。最近の決まり手はまくりが中心になるが、ここ番で積極策に出られる度胸もある。競走の組み立てるセンスは抜群で、ラインからの信頼も厚い。番手を回るケースも増えてきてはいるが、どんな状況にも柔軟に対応できる選手だ。この一戦に向けて万全の仕上がりで挑むだろう。

吉田 拓矢
茨城・107期



関東を代表する武田豊樹や平原康多、更には大ベテランの神山雄一郎(栃木61期)が名を連ねるなかで注目したいのが吉田拓矢だ。3月に名古屋F1で完全優勝を果たすなど、勢いが増している近況だ。「2年前くらいの良かった頃のセッティングのデータが出てきて、それに戻りたいんだいぶ感じが良いし不安が減った」と言う通り成績が急激に上昇。高いポテンシャルを持つ吉田はもともとハイレベルな戦いのできる選手。これをキッカケに再度飛躍する可能性も十分だ。関東の大御所が揃うこの記念に向けては「平原さんや武田さんが居るこの開催は、普段の記念よりも気持ちが入りそうだな。楽しみながら開催です。川崎のバンクは特にクセも感じないし強いイメージは無いかな」と語る表情には明るさも増してきている。

松本 貴治
愛媛・111期



昨年末はヤングGPに出場するなど、めきめきと力を付けているのが松本貴治。持ち味は何と言っても強力な地脚。荒れ場でも臆さず攻められる気持ちの強さだろう。2度目の登場となる川崎のバンクについて話を聞くと「嫌なイメージは無かったですよ。直線の長さ、そこは全然気になりませんでした」とあっさり答える。風や天候次第では極端に重くなるこのバンクだが、荒れば荒れるほど松本の本領が発揮されそう。グレードレースでの活躍も増えてきた近況には「とにかく、どんなレースでも自分の力を出し切ることに集中するだけです。一戦一戦頑張るだけ」とすっきり上位との戦いにも慣れてきている。かかり切れれば手の付けられない抜群のパワーを生かせば優勝戦線にも食い込む力。

松井 宏佑
神奈川・113期



神奈川期待のルーキー松井宏佑が地元元G3に初参戦。昨年7月にデビューしてから勝ち星を重ね、10月にチャレンジャーから特別昇班、翌11月にS級に特別昇級を果たしている。現在は高いスピード能力を買われてナショナルチームに在籍しており、競輪との両立を目指している。「S級でも徐々にレースに慣れていきおり、競輪用のフレームだとまだまだただけど、だいぶ慣れてはきました。もっとやれる感じはあります」と自信の表情を見せるのは小田原F1の時だが、すぐさま直後の福井F1でS級初Vを達成。組み立ての甘さも目立つが、「一戦一戦成長を見せている。地元元神奈川のG3は初めての参加で、少しずつ良く姿を地元元ファンの方に見て貰いたいですね。内容良い走りが見て貰いたい」と意気込みを語る。南関勢にとつては頼もしい存在となりそう。



4日目に行われる企画レースは7車立てのブロックセブン。そのなかで「格上のパワーと実績を誇るのが小松崎大地(福島99期)。近況は積極果敢に攻めるレースが目立つが「特別なことをしている訳ではなく、勝負所で反応できているんだと思う」と気配の良さを感じさせるコメント。初挑戦となる7車立てについては「初めてなので手探りではあるけど、走るのは楽しみです。それに、川崎のバンクは結構良いイメージはあります」と語る。力を付けている若手の今野大輔(愛媛111期)や当地地を得意調気配で抵抗しきそう。もちろん小松崎の番手回りが予想される地元元勝瀬卓也(神奈川84期)にも期待はかかるが、最後は小松崎が力だねじ伏せ押し切り、発勝負をモノにするとのみ。

企画レース主力選手
小松崎 大地
福島・99期



URBAN BANK かわさきケイリン

×	村 上 義 弘	原 田 研 太 朗	吉 田 拓 矢	松 本 貴 治	注 佐 藤 慎 太 郎	深 谷 知 広	▲ 三 谷 竜 生	○ 平 原 康 多	◎ 郡 司 浩 平	予想 予 氏 (直 近 成 績) 名
京 都	徳 島	茨 城	愛 媛	福 島	愛 知	奈 良	埼 玉	神 奈 川	府 県	期 別
73	98	107	111	78	96	101	87	99	99	級 別
SS	S1	S1	S1	S1	S1	SS	SS	S1	S1	1 着
4回	13回	9回	10回	4回	0回	5回	9回	7回	7回	2 着
3回	4回	4回	4回	7回	0回	2回	3回	5回	5回	3 着
1回	2回	4回	5回	6回	0回	1回	4回	1回	1回	着 外
12回	13回	10回	8回	7回	0回	5回	8回	6回	6回	棄 権
1回	0回	0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	失 格
0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	出 走 数
21回	32回	27回	28回	24回	0回	14回	24回	19回	19回	勝 率
19.00%	40.60%	33.30%	35.70%	16.60%	0.00%	35.70%	37.50%	36.80%	36.80%	連 対 率
33.30%	53.10%	48.10%	50.00%	45.80%	0.00%	50.00%	50.00%	63.10%	63.10%	3 連 対 率
38.00%	59.30%	62.90%	67.80%	70.80%	0.00%	57.10%	66.60%	68.40%	68.40%	H 数
0回	6回	15回	12回	0回	0回	0回	3回	2回	2回	B 数
2回	9回	16回	14回	0回	0回	0回	5回	5回	5回	競 走 得 点
114.05	109.18	111.74	109.40	114.87	0.00	114.30	117.70	116.10	116.10	

決勝想定メンバー